

自動車 CFR(T)P 産業の実際現場とビジネス展開

講師：影山裕史 氏 金沢工業大学 大学院工学研究科

高信頼性ものづくり専攻 教授（前トヨタ自動車）

近年、自動車用材料として CFR(T)P が注目され、スーパーカーだけではなく、BMW i3 やトヨタ Mirai などの電気自動車 (EV) や燃料電池自動車 (FCV) といった量産レベルの環境車両にも採用されるようになってきた。今後も大きな期待がかけられる材料である。

ただ、CO₂問題などに大きく貢献するには数を出していく必要があり、そのためには CFR(T)P ならではの設計や大量生産技術、更にはビジネス展開が必要になる。CFR(T)P は、まだまだこれらを推し進めていく面での課題も多く、ここでは、さまざまな観点から自動車 CFR(T)P 材料の課題を共有するとともに、開発の方向性を理解し、一対策案に関して議論してみたい。

<講師略歴>

1981年 東京工業大学 有機材料工学修士課程修了後、トヨタ自動車工業(株) (現在、トヨタ自動車(株)) に入社。自動車軽量材料の量産技術開発に従事。東富士研究所での CFRP やバイオプラスチックの研究開発を含む。2014年に同社定年退職後、金沢工業大学にて学の立場で勉強開始。

開催日時	2016年8月24日(水) 13:00~16:50	【会場】:『あすか会議室 神田小川町』 4階401会議室
受講料	49,000円(税込) ※ 資料代金 * メルマガ登録者は 44,000円(税込)	〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-1-7 日本地所第7ビル

【本セミナーのプログラム】

- I 編 自動車業界から求められる CFR(T)P
- 1 自動車と CFR(T)P の歴史
 - 2 自動車と CFRP の動向
 - 3 自動車カーボンの種類
- II 編 課題編
- 1 章 技術面
 - 1 材料改良
 - 2 設計改良
 - 3 成形加工の課題
 - 4 接着の課題
 - 5 異種材料接合の実際 (反りなど)
 - 2 章 ビジネス面
 1. LCA と対策
 2. コストと対策
3. 後工程 (接合、塗装) と対策
4. 商品性と対策
 5. 欧州の事例
 6. 各業種に対して
 - 6.1 化学メーカー
 - 6.2 設計メーカー
 - 6.3 接着メーカー
- 3 章 セルロースナノファイバーの使われ方
- III 編 課題解決への方法編
1. 穴あけ加工技術
 2. レーザー微細加工技術
 3. 接着接合技術
 4. 表面加工処理技術
 5. リサイクル

弊社記入欄		セミナー申込書 【S&T 出版】	
セミナー名	自動車 CFR(T)P 産業の実際現場とビジネス展開		
所定の事項にご記入下さい	会社名 (団体名)	TEL :	
	住所 〒	FAX :	
	部署	役職	氏名
お支払方法	(ご便宜の方法を○で囲んで下さい。) 銀行振込・その他		お支払予定 年 月 日頃
メルマガ登録(無料)	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録済 ※登録された方にはシーエムシー・リサーチ、S&T 出版からメルマガを配信いたします。		

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上、FAX でお申し込みください。

折り返し、聴講券、会場地図、請求書を送付いたします。

■申込先：(株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町2-7 TEL03-3293-7053

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789